ハイビジョンハードディスクムービー

型名 GZ-HD40/GZ-HD30

パソコン操作ガイド

Windowsをお使いの場合

Mac OS Xをお使いの場合

準備

Windowsの場合

●付属ソフトをインストールしてください（P.4）。
●ブルーレイディスクをつくるには、記録型ブルーレイドライブをご用意ください。
●ハイビジョンのDVD（AVCHDディスク）や標準画質のDVDビデオをつくるには、記録型DVDドライブをご用意ください。

Mac OS Xの場合

● MPEG-2 TSモードの動画（画質 FHD 1440）を扱うには、あらかじめ付属ソフトをインストールしてください（P.24）。
●動画の編集やディスク作成には、アップル社または市販のソフトウェアをご用意ください。

ビデオディスクを再生するとき

操作方法については、お使いの機器の取扱説明書をお読みください。
●ブルーレイディスクの再生➡市販のブルーレイプレーヤー
●AVCHDディスクの再生➡別売のDVDライター（CU-VD50）、市販のAVCHD対応機器、AVCHD対応ソフト（付属のPowerDVDなど）
●標準画質のDVDビデオの再生➡市販のDVDプレーヤー

■別売のDVDライターの付属ソフトPower2Goを使うとき

Power2Goを使って動画をDVDに記録すると、データディスクができます。AVCHDディスクではありません。
再生にはDVDライターをお使いください。その他の機器に入れると、ディスクを取り出せなくなることがあります。

お知らせ
●AVCHDディスクは、上記の対応機器で再生してください。その他の機器（DVDプレーヤー、AVCHD非対応のブルーレイプレーヤーなど）に入れないでください。ディスクを取り出せなくなることがあります。
●DVDビデオはDVDプレーヤーで再生できますが、機器によっては正常に再生できないことがあります。

Windows 1

このようなことができます

動画や静止画を撮影した後は、パソコンに保存して、
付属のソフトで再生・編集・ディスク作成を楽しむことができます。

■PowerCinemaで、簡単保存・再生・コピー・編集

設定
各項目を細かく設定できます

ヘルプ
詳しい使いかたはインターネットで見られます

●エブリオで操作して簡単に保存できる「ダイレクトバックアップ」

エブリオのダイレクトバックアップボタンを押すと、新しく撮った映像をパソコンに保存できます。

●パソコンで操作して保存できる「バックアップ」

エブリオのHDDまたはmicroSDカードを選んで、新しく撮った映像をパソコンに保存できます。

●エブリオで操作してDVDに保存できる「ダイレクトDVD」

エブリオのダイレクトDVDボタンを押すと、新しく撮った映像をDVDに保存して、AVCHDディスクをつくれます。

■PowerDirectorで編集!

■PowerProducerでディスク作成!

■PowerDVDでディスク再生!

AVCHDディスクと標準画質のDVDビデオを再生できます。
（ブルーレイディスクとデータディスクは再生できません。）

■フォト・ナビゲーターで静止画を活用!

●ディスクの作成／編集などができる「拡張機能」

コピーの開始：必要な映像を選んでコピーできます。
アドバンス編集：必要な映像を選び、PowerDirectorで編集できます。
ディスク作成：必要な映像を選び、PowerProducerでディスクを作成できます。ブルーレイディスクも作成できます。
削除：不要な映像を選び、削除できます。（エブリオ本体のファイルは削除できません）

お知らせ
●付属ソフトの操作などで困ったときは、『取扱説明書』P.95のお問い合わせ先へご相談ください。
●パソコンで編集した映像のディスク作成のしかたなどについては、以下のアドレスでご覧になれます。
http://www2.cli.co.jp/products/ne/

Windows 2

動作環境を確認する

対応するパソコンの条件を確認します。

エブリオに接続できるパソコン

次の条件を満たすパソコンに、ファイル(動画と静止画)を保存できます。

OS : 次のいずれか(プリインストール版)
・Windows XP Home Edition/Professional (SP2)
・Windows Vista Home Basic/Home Premium (32ビット版)
端子 : 標準装備のUSB 2.0端子

お知らせ ●本書では、特に記載のない場合は、Windows XPの画面例を掲載しています。Windows Vistaでは、画面が異なることがあります。

付属ソフトの一覧

■CyberLink BD Solution
- ●PowerCinema NE for Everio (ファイル管理・再生ソフト)
- ●PowerDirector 6 NE (編集ソフト)
- ●PowerProducer 4 NE (ディスク作成ソフト)
- ●PowerDVD 7 NE (ディスク再生ソフト)

■フォト・ナビゲーター
- ●フォト・ナビゲーター(静止画管理ソフト)

お知らせ ●「おまかせインストール」を押した場合、フォト・ナビゲーター、PowerCinema、PowerDVDのみ、デスクトップにアイコンができます。

重要！

PowerDVD 7のBD対応版をお使いの方へ
付属のPowerDVD 7 NEをインストールすると、ブルーレイディスクを再生できなくなります(P.21)。

付属ソフトを使えるパソコン

次の条件を満たすパソコンで、付属ソフトを使えます。

CPU : Intel Pentium 4 3.2GHz以上
Intel Pentium M 1.8GHz以上
(Intel Core Duo 1.66GHz以上推奨)
RAM : Windows XPでは、1GB以上(2GB以上推奨)
Windows Vistaでは、2GB以上
HDD空き容量 : インストール時に750MB
ブルーレイディスク作成時に30GB (60GB以上推奨)
ディスプレイ : 1024×768ピクセル以上を表示可能なこと(1280×1024以上推奨)
ビデオカード : MPEG-2 HD DxVAに対応すること(Intel/nVidia/ATI 製)
最新のドライバを使用すること
(AVCHD AVCHDモードの動画を扱う場合、ビデオRAMが256MB以上あること)
サウンドカード : Direct Soundに対応すること
記録型DVD/ブルーレイドライブ : CyberLink社が対応するドライブ

■快適に編集するための推奨環境
- ➡ MPEG2 TS MPEG-2 TSモードの動画は、Intel Core 2 Duo 以上
- ➡ AVCHD AVCHDモードの動画は、Intel Core 2 Duo 2.4GHz以上

お知らせ ●対応する記録型光学ドライブについては、『取扱説明書』P.95をご覧ください。
●推奨環境を満たすパソコンでも、ハイビジョン映像の再生時にコマ落ちしたり、編集に時間がかかることがあります。

Windows 3

付属ソフトをインストールする

動画の再生･編集･ディスク作成や、静止画のアルバム作成ができる付属ソフト(P.2)をインストールします。

準 備 ●付属のCD-ROMをパソコンに入れる

■Windows Vistaをお使いの場合

1 自動再生画面で
「INSTALL.EXEの実行」を押す

2 ユーザーアカウント制御画面で
「続行」を押す

1 ソフトウェアセットアップ画面で
「おまかせインストール」を押す
●「おこのみインストール」を選ぶと必要なソフトを選択して、インストールが可能です
●「パソコン操作ガイド」を見ることができます

2 フォト･ナビゲーターの使用許諾契約
内容を確認し、「はい」を押す
●フォト･ナビゲーターのインストールが始まります

3

設定言語の選択画面で
言語を確認し、
「OK」を押す

4 Cyber Link BD Solution使用許諾契約の
内容を確認し、「はい」を押す
●CyberLink BD Solution(P.3)のインストールが始まります
インストールが完了すると、次の画面を表示します

5

インストールが完了し、デスクトップにアイコンが作成されます
(①の画面で「×」を押すと終了する)

「完了」を押す

付属ソフトについて詳しく知るには

各ソフトの取扱説明書／ユーザーガイド／ヘルプ／ReadMeを、スタートメニューから選んでご覧ください。
PowerCinemaについては、画面内の「ヘルプ」をクリックしてください。

フォト･ナビゲーター

PowerCinema NE for Everio
PowerDirector
PowerDVD
PowerProducer

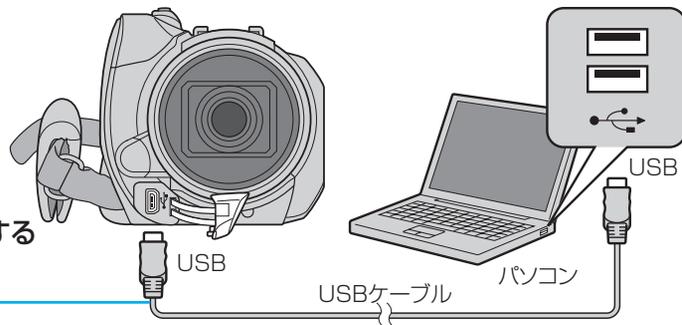
■ユーザー登録するとき ➡上の画面の「オンライン登録」をクリックする

Windows 4

エブリオを接続する

パソコンにエブリオを接続するには、付属のUSBケーブルを使います。

準 備 ●付属ソフトをインストールする(P.4)
●(エブリオ)電源:「切」

1 本機にACアダプターを取り付ける

2 接続する

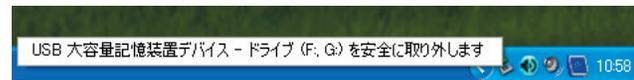
3 電源を入れる

●次の画面が表示されます

お知らせ ●あらかじめエブリオで不要なファイルを削除しておくと、パソコンに保存する容量が少なくなり、パソコンのHDDの空き容量を節約できます。

■エブリオを取り外すとき

(1)「ハードウェアの安全な取り外し」または「取り外し」をクリックする。

(2)「USB大容量記憶装置 ー デバイスを安全に取り外します」をクリックする。

(3) USBケーブルを抜く。

重要!

- **MPEG-2 TSモードでは「x.v.Color」を「切」にして撮影してください。**
  MPEG-2 TSモードで「x.v.Color」を「入」にして撮影した動画に、付属ソフトは対応していません。編集すると、色がおかしくなることなどがあります。
  AVCHDモードの場合は、「x.v.Color」をどちらに設定して撮影しても、付属ソフトで編集できます。

- **エブリオをパソコンに接続するときは、USBケーブルを使います。**
  i.LINKケーブルで接続した場合、付属ソフトでファイル(動画や静止画)を読み込めません。

Windows 5

動画をDVDに保存する(AVCHD)

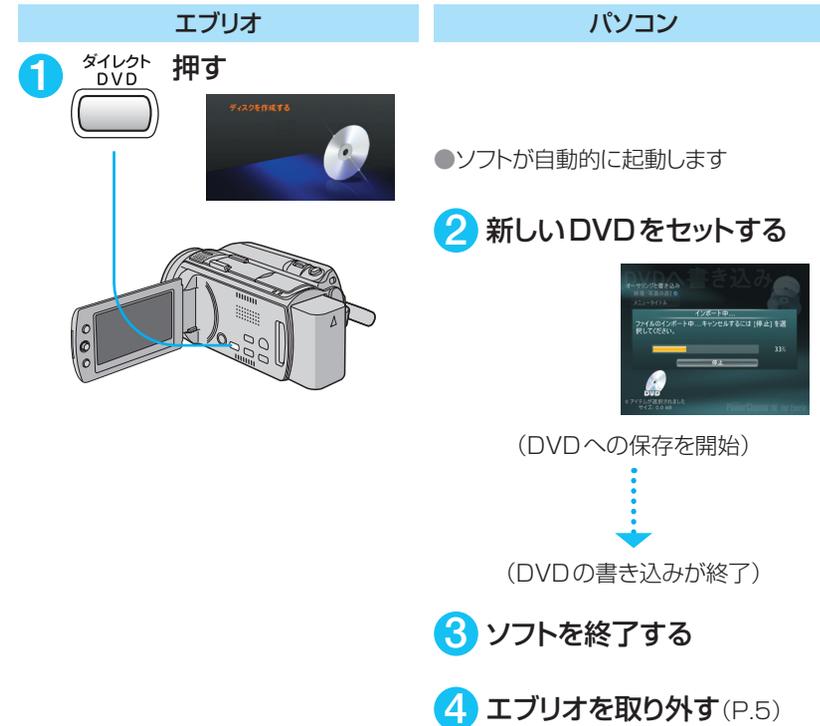
パソコンの記録型DVDドライブを使って、動画をDVDにまとめて保存できます。
(ダイレクトDVD)エブリオのHDDにある動画のうち、この操作でDVDに一度も保存したことがない動画だけが、自動的に選ばれて保存されます。

つくれるディスク	必要なもの
AVCHDディスク(ハイビジョン)	• 記録型DVDドライブ(および、対応する記録用DVDメディア) • AVCHD AVCHDモードで撮影した動画(画質 XP SP EP)

① 付属ソフトをインストールする(P.4)
② (エブリオ)モードスイッチ：
③ (エブリオ)基本設定メニューで「ストリーム形式」を「AVCHD」にする
④ (エブリオ)パソコンに接続し、電源を入れなおす(P.5)

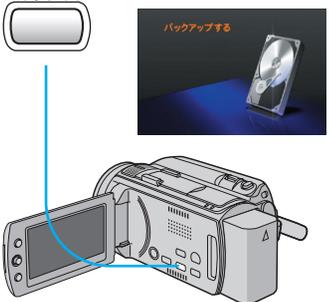
Windows 6-1

ファイルをパソコンに保存する

ファイル(動画と静止画)をパソコンにまとめて保存できます。
この操作で一度も保存したことがないファイルだけが、自動的に選ばれて保存されます。
AVCHD AVCHDモードの動画も、MPEG2 TS MPEG-2 TSモードの動画も、共に保存されます。

エブリオのHDD内のファイルと、microSDカード内のファイルを、それぞれパソコンに保存できます。
主にエブリオ側で操作します。(ダイレクトバックアップ)

準備 ① 付属ソフトをインストールする(P.4)
② (エブリオ)パソコンに接続し、電源を入れる(P.5)

エブリオ	パソコン

1 ダイレクトバックアップ 押す

(パソコンに保存を開始)

●ソフトが自動的に起動し、保存が始まります

2 ソフトを終了する

3 エブリオを取り外す(P.5)

コピー元(HDDまたはmicroSD)を選ぶ方法

エブリオのHDD内とmicroSDカード内の一方を選び、そのなかにあるファイルをパソコンに保存できます。
最初にエブリオで、続いてパソコン側で操作します。

準備 ①付属ソフトをインストールする(P.4)
②(エブリオ)パソコンに接続し、電源を入れる(P.5)

エブリオ	パソコン

1 「バックアップする」を選び、決定する

2 バックアップしたいメディアを選ぶ

●保存先を調べる、変更するとき
→「設定」→「バックアップフォルダ」

お知らせ ●パソコンのPowerCinema NE for Everioの画面で「バックアップ」を選ぶこともできます。その場合は、あらかじめ本機の画面で「パソコンで見る」を選んでください。

ファイルをパソコンに保存する
（つづき）

付属ソフトを使わない方法

1 パソコンにエブリオを接続し、電源を入れる（P.5）

2 エブリオで「パソコンで見る」を選び、決定する

●パソコンに「EVERIO_HDD」（および「EVERIO_SD」）が表示されます

3 「フォルダを開いてファイルを表示する」を選び、「OK」を押す

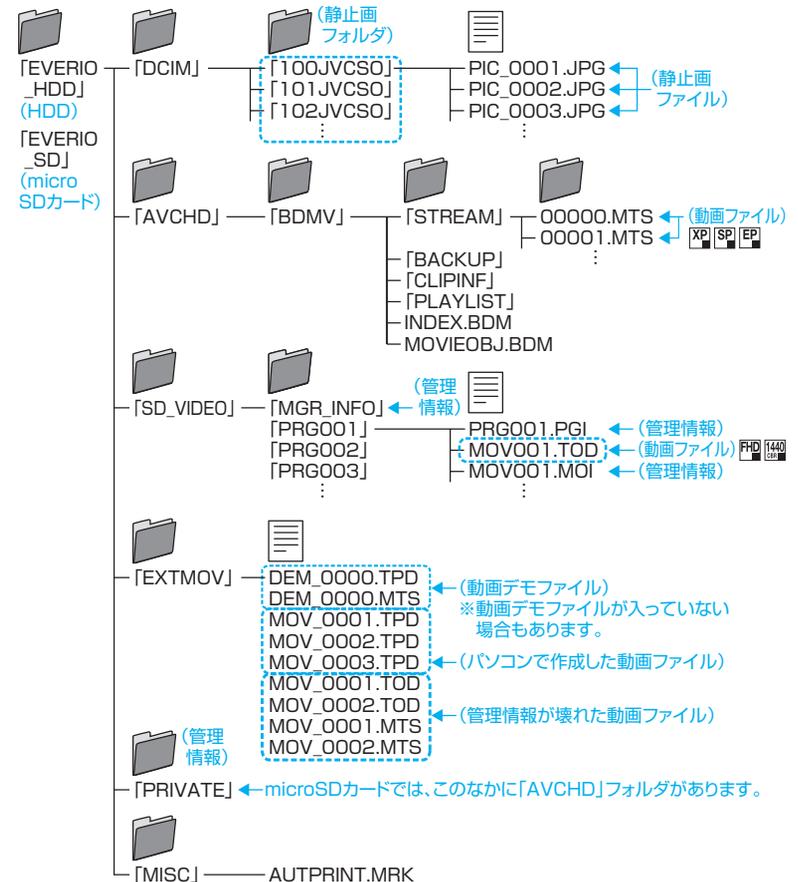
4 下記のフォルダをコピーする

5 エブリオを取り外す（P.5）

■ AVCHD AVCHDモードの動画（画質 XP SP EP）を保存するとき
➡右ページの「AVCHD」フォルダをコピーする
（microSDカードでは「PRIVATE」フォルダのなかにあります。）

■ MPEG2 TS MPEG-2 TSモードの動画（画質 FHD 1440）を保存するとき
➡右ページの「SD_VIDEO」フォルダをコピーする

■静止画を保存するとき
➡右ページの「DCIM」フォルダをコピーする

下図はHDDとmicroSDカードにつくられるフォルダとファイルの一覧です。
フォルダとファイルは、必要になったときにつくられます。

お知らせ
●上記のフォルダやファイルの削除・移動・名前の変更などをパソコンで行うと、エブリオで再生できなくなります。

ビデオディスクをつくる

エブリオで撮った動画ファイルを使って、ビデオディスクをつくりましょう。

つくれるディスク	必要なもの
ブルーレイディスク（ハイビジョン）	•記録型ブルーレイドライブ（および、対応する記録用ブルーレイメディア） •動画（すべての画質に対応）
AVCHDディスク（ハイビジョン）	•記録型DVDドライブ（および、対応する記録用DVDメディア） •動画（すべての画質に対応）
DVDビデオ（標準画質）	

お知らせ

●画質 FHD 1440 の動画を使ってAVCHDディスクをつくると、動画の圧縮方式を変換するため、画質が低下します。さらに、変換に時間がかかります。

●DVDビデオをつくると、ハイビジョンから標準画質に変換するため、画質が低下します。さらに、変換に時間がかかります。

準 備 ●エブリオの動画ファイルをパソコンに保存する（P.7）

1

PowerCinema NE for Everio

PowerCinemaアイコンをダブルクリックする

▶ PowerCinemaが立ち上がる。

2

《 や 》 を押して「拡張機能」を選ぶ

押す

●操作がわからないときは「ヘルプ」を押す

お知らせ ●「ヘルプ」を見るには、インターネットに接続できるパソコンが必要です。

3

「バックアップフォルダ」を押す

4

ディスクに記録するファイルに「✓」をつける

「次へ」を押す

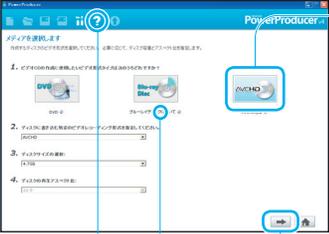
5

「ディスク作成」を押す

PowerProducerが立ち上がる。（➡次ページに続く）

ビデオディスクをつくる(つづき)

(以下は、P.9の手順⑤の続きです)

6 **つくるディスクを選ぶ**

●ブルーレイディスクをつくるとき
➡「Blu-ray Disc」を押す
●AVCHDディスクをつくるとき
➡「AVCHD」を押す
●DVDビデオ(標準画質)をつくるとき
➡「DVD」を押す

●PowerProducerの操作や機能がわからないときは、これらを押す

➡ を押す

7 **次の画面が表示されたら、PowerCinemaを終了する**

8 タイトル(登録されたファイル)

➡ を押す

9 **を押す**

ディスクの作成が開始される。

10 ディスクの作成が終了したら
PowerProducerを終了する

お知らせ
●お使いのパソコンによっては、書き込む映像の10倍以上の時間がかかる場合があります。
●お使いのパソコンによっては、記録済みディスクの消去に失敗する場合があります。このような場合は、PowerProducerの「ディスクユーティリティ」の「ディスクの消去」でディスクを消去してからお使いください。
●お使いのドライブの製造元が推奨するディスクを使用してください。

Windows

8-1 編集してビデオディスクをつくる

エブリオで撮った動画ファイルをパソコンで編集し、ビデオディスクをつくりましょう。

つくれるディスク	必要なもの
ブルーレイディスク（ハイビジョン）	•記録型ブルーレイドライブ（および、対応する記録用ブルーレイメディア） •動画（すべての画質に対応）
AVCHDディスク（ハイビジョン）	•記録型DVDドライブ（および、対応する記録用DVDメディア） •動画（すべての画質に対応）
DVDビデオ（標準画質）	

お知らせ
●画質 FHD 1440 の動画を使ってAVCHDディスクをつくると、動画の圧縮方式を変換するため、画質が低下します。さらに、変換に時間がかかります。
●DVDビデオをつくると、ハイビジョンから標準画質に変換するため、画質が低下します。さらに、変換に時間がかかります。

準備 ●エブリオの動画ファイルをパソコンに保存する（P.7）

1

PowerCinema NE for Everio

PowerCinemaアイコンをダブルクリックする

PowerCinemaが立ち上がる。

2

【 や 】を押して「拡張機能」を選ぶ

押す

●操作がわからないときは「ヘルプ」を押す

お知らせ
●「ヘルプ」を見るには、インターネットに接続できるパソコンが必要です。

3

「バックアップフォルダ」を押す

4

編集するファイルに「✓」をつける

「次へ」を押す

5

「アドバンス編集」を押す

PowerDirectorが立ち上がる。（➡次ページに続く）

編集してビデオディスクをつくる
（つづき）

（以下は、P.11の手順⑤の続きです）

PowerDirectorに選択した画像が取り込まれたら、PowerCinemaを終了する

7

●PowerDirectorの操作がわからないときは、「ヘルプ」を押す。

「編集」メニューの「縦横比」を選ぶ

「16:9」を押す

8

サムネイルをドラッグし、 の行に置く

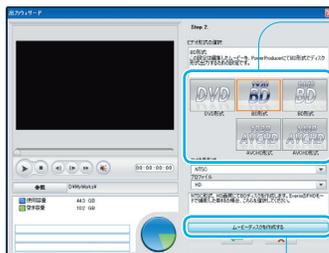
●多彩な機能を使って編集するとき
➡（P.14）

「出力」を押す

9

「ディスク形式出力」を押す

→ を押す

10

つくるディスクを選ぶ

●ブルーレイディスクをつくるとき
➡「1920 BD」を押す
（画質 1440 CBR の動画のみを使うときは「1440 BD」）

●AVCHDディスクをつくるとき
➡「1920 AVCHD」を押す
（画質 1440 CBR の動画のみを使うときは「1440 AVCHD」）

●DVDビデオ（標準画質）をつくるとき
➡「DVD」を押す

「ムービーディスクを作成する」を押す

PowerProducerが立ち上がる。
（➡次ページに続く）

編集してビデオディスクをつくる（つづき）

（以下は、P.12の手順⑩の続きです）

⑪

タイトル（登録されたファイル）は１つ

●タイトルを２つ以上にするとき
➡「動画」を押し、あらかじめ作成した追加タイトル用のファイル（P.15、17）を読み込む

➡ を押す

⑫

を押す

ディスクの作成が開始される。

⑬

ディスクの作成が終了したら

PowerProducerを終了する

編集してビデオディスクをつくる（つづき）

PowerDirectorを使うと、多彩な機能を使って本格的に編集できます。
少しの編集でも、ビデオの印象は大きく変わります。

トランジション（場面切替）の入れかた

シーンのつなぎ目を効果的に演出できます。

1. を押す
2. トランジションをドラッグし、 の行のシーンの間に入れる

画面に文字の入れかた

1. を押す
2. タイトルをドラッグし、 の行に置く
3. ダブルクリックする

4. 文字をダブルクリックし、書き替える
   ●文字の色・大きさ・動きなどを設定できます
5. を押す

トリミングのしかた

シーン（クリップ）の最初や最後に余分な映像があるとき、それらを削ることができます。

1. の行のビデオを選ぶ

2. 「トリム」を押す

3. クリップの始まりや終わりを、ドラッグして調節する
   ●数値で設定することもできます

その他の機能

これらのほかにも、PowerDirectorにはさまざまな機能があります。
操作については、PowerDirectorのヘルプとユーザーズガイド（PDF）をご覧ください。

■映像に効果をつけるとき ➡エフェクト

■おもしろい画像を映像のなかで動かすとき ➡PiP

■BGMに音声ファイルを使うとき ➡BGM

お知らせ ●編集中は、「ファイル」メニューの「保存」でこまめに保存してください。

Windows 9-1

編集して保存する（AVCHD）

AVCHD AVCHDモードで撮った動画を編集しましょう。
編集後の動画ファイルは、ビデオディスクの追加タイトルに使えます（P.13）。

つくれるファイル	必要なもの
追加タイトル用ファイル（P.13）	• AVCHD AVCHDモードで撮影した動画（画質 XP SP EP）

■ MPEG2 TS MPEG-2 TSモードの動画（画質 FHD 1440）を使うとき
➡「編集して保存する（MPEG-2 TS）」（P.17）

準備 ●エブリオの動画ファイルをパソコンに保存する（P.7）

PowerCinemaアイコンを
ダブルクリックする

PowerCinemaが
立ち上がる。

2

《 や 》 を押して
「拡張機能」を選ぶ

押す

●操作がわからないときは
「ヘルプ」を押す

3

「バックアップフォルダ」を押す

4

編集するファイルに
「✓」をつける

「次へ」を押す

5

「アドバンス編集」を押す

PowerDirectorが
立ち上がる。（➡次ページに続く）

お知らせ ●「ヘルプ」を見るには、インターネットに接続できるパソコンが必要です。

Windows 9-2

編集して保存する（AVCHD）（つづき）

（以下は、P.15の手順⑤の続きです）

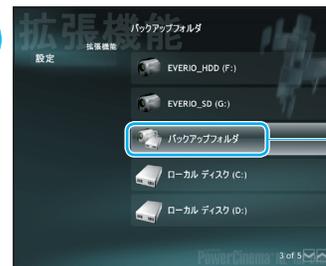
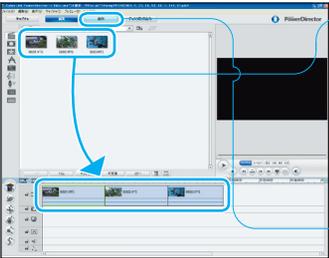
PowerDirectorに選択した画像が取り込まれたら、PowerCinemaを終了する

7

●PowerDirectorの操作がわからないときは、「ヘルプ」を押す。

「編集」メニューの「縦横比」を選ぶ

「16:9」を押す

8

サムネイルをドラッグし、 の行に置く

●多彩な機能を使って編集するとき ➡（P.14）

「出力」を押す

9

「ファイル形式出力」を押す

→ を押す

10

「AVC.MPEG4」を押す

「MPEG-4 AVC、1920×1080i」を選ぶ

→ を押す

11

ファイルの保存先とファイル名を確認する

✓ を押す

追加タイトル用ファイル（拡張子.JTS）が保存される。

■ビデオディスクに使うとき ➡（P.13手順⑪）

■Power2Go（DVDライターの付属ソフト）で使うとき ➡（P.21）

お知らせ

●PowerDirectorのプレビュー表示は、お使いのパソコンの能力や状態によって滑らかに再生できないことがあります。

●プレビュー表示は編集時の確認用です。画質は実際の映像より低下します。

●PowerDirectorのヘルプの記述および画面の表記は、パッケージ版と同一です。そのため、エブリオ付属版では動作しない機能が記載されています。

●追加タイトル用ファイル（拡張子.JTS）は、PowerCinema、PowerDirector、PowerProducerで使用できます。

Windows 10-1

編集して保存する(MPEG-2 TS)

MPEG-2 TSモードで撮った動画を編集しましょう。
編集後の動画ファイルは、ビデオディスクの追加タイトルに使えます(P.13)。
さらに、エブリオに戻すと、エブリオで再生できます(P.19)。

つくれるファイル	必要なもの
追加タイトル用ファイル(P.13)	• MPEG-2 TSモードで撮影した動画(画質 FHD 1440)
エブリオ再生用ファイル(P.19)	

■ AVCHDモードの動画(画質 XP SP EP)を使うとき
➡「編集して保存する(AVCHD)」(P.15)

準備 ●エブリオの動画ファイルをパソコンに保存する(P.7)

PowerCinema NE for Everio

PowerCinemaアイコンをダブルクリックする

PowerCinemaが立ち上がる。

《や》を押して「拡張機能」を選ぶ

押す

●操作がわからないときは「ヘルプ」を押す

「バックアップフォルダ」を押す

編集するファイルに「✓」をつける

「次へ」を押す

「アドバンス編集」を押す

PowerDirectorが立ち上がる。(➡次ページに続く)

お知らせ ●「ヘルプ」を見るには、インターネットに接続できるパソコンが必要です。

Windows 10-2

編集して保存する（MPEG-2 TS）
（つづき）

（以下は、P.17の手順⑤の続きです）

PowerDirectorに選択した画像が取り込まれたら、PowerCinemaを終了する

7

●PowerDirectorの操作がわからないときは、「ヘルプ」を押す。

「編集」メニューの「縦横比」を選ぶ

「16:9」を押す

8

サムネイルをドラッグし、の行に置く

●多彩な機能を使って編集するとき ➡（P.14）

「出力」を押す

「ファイル形式出力（GZ-HDシリーズ）」を押す

→ を押す

10

動画の画質に合わせる

●画質 FHD の動画を使うとき ➡「1920」を押す

●画質 FHD と 1440 の動画を混在させるとき ➡「1920」を押す

●画質 1440 の動画を使うとき ➡「1440」を押す

→ を押す

11

ファイルの保存先とファイル名を確認する

✓ を押す

追加タイトル用ファイル（拡張子.TPD）が保存される。

■ビデオディスクに使うとき ➡（P.13手順⑪、P.19右側）

■エブリオで再生するとき ➡（P.19左側）

お知らせ

●PowerDirectorのプレビュー表示は、お使いのパソコンの能力や状態によって滑らかに再生できないことがあります。

●プレビュー表示は編集時の確認用です。画質は実際の映像より低下します。

●PowerDirectorのヘルプの記述および画面の表記は、パッケージ版と同一です。そのため、エブリオ付属版では動作しない機能が記載されています。

●追加タイトル用ファイル（拡張子.TPD）はPowerCinema、PowerDirector、PowerProducerで使用できます。

編集して保存する(MPEG-2 TS)
(つづき)

エブリオで再生する

追加タイトル用ファイル(拡張子.TPD)をエブリオに戻すと、エブリオで再生できます。エブリオをテレビに接続して見ることができます。

1 エブリオをパソコンに接続する

2 エブリオのHDDの「EXTMOV」フォルダに、追加タイトル用ファイル(拡張子.TPD)を入れる

●「EXTMOV」フォルダについて➡「ファイルをパソコンに保存する」(P.8)

■エブリオに戻せないとき/エブリオで再生できないとき

- ●ファイルサイズが4GB以上のときは、4GB以下になるよう動画の時間を短くする。
- ●エブリオのHDDの「EXTMOV」フォルダに、ファイルが入っていることを確認する。
- ●ファイル名を「MOV_xxxx.tpd」の書式から変更しない。(変更が必要なときは、4桁の数字(xxxx部分)を別の4桁の数字に変更します。)
- ●P.18の手順⑨で「ファイル形式出力(GZ-HDシリーズ)」を選び、手順⑩で動画の画質に合わせたことを確認する。
- ●AVCHD AVCHDモードの動画(画質 XP SP EP)からつくった追加タイトル用ファイル(拡張子.JTS)は、エブリオで再生できません。

DVDライター(別売)で記録・再生する

DVDライターの付属ソフト「Power2Go」を使うと、追加タイトル用ファイル(拡張子.TPD)をDVDに記録できます。

つくれるディスク	必要なもの
データディスク(ハイビジョン)	・DVDライター(および、対応する記録用DVDメディア) ・MPEG2 TS MPEG-2 TSモードで撮影した動画(画質 FHD 1440)の追加タイトル用ファイル(拡張子.TPD)

1 DVDライターをパソコンに接続する

●DVDライターの取扱説明書をご覧ください

2 DVDライターの付属ソフト「Power2Go 5.5Lite」で、追加タイトル用ファイル(拡張子.TPD)をディスクに記録する

3 再生するとき

●取扱説明書の「バックアップDVDを見る」(P.58)をご覧ください

●DVDライター(CU-VD50またはCU-VD40)の取扱説明書をご覧ください

■DVDに記録できないとき/再生できないとき

- ●ファイルサイズが4GB以上のときは、4GB以下になるよう動画の時間を短くする。
- ●P.18の手順⑨で「ファイル形式出力(GZ-HDシリーズ)」を選び、手順⑩で動画の画質に合わせたことを確認する。

お知らせ ●DVDライター(CU-VD3)には、Power2Goは付属しません。

Windows

11-1 付属ソフトのよくあるご質問

困ったときは、まずこちらをご覧ください。それでも解決しないときは、それぞれのソフトの「ユーザーズガイド」(PDF)をご覧ください。

PowerCinema NE For Everio

Q 動画ファイル(拡張子.JTSまたは.TPD)を再生する際、映像がコマ落ちしたり音切れします。

A サムネイルが表示されていないときは、サムネイルの作成中です。サムネイルの作成中に再生をすると、映像がコマ落ちすることがあります。
お使いのパソコンがPowerCinemaの動作環境を満たしているか、「付属ソフトを使えるパソコン」(P.3)でご確認ください。

Q エブリオに保存した動画ファイル(拡張子.TPD)をPowerCinemaで再生できません。

A エブリオの「EXTMOV」フォルダにあるファイルを、PowerCinemaは再生できません。エブリオの動画の再生メニューの「特殊ファイル再生」で再生するか、パソコンのHDDに動画ファイルをコピーしてからPowerCinemaで再生します。

PowerDirector 6 NE

Q 編集後の動画ファイル(拡張子.JTSまたは.TPD)を再生する際、映像がコマ落ちしたり音切れします。

A このようなときは、「編集して保存する」(P.16、18)の手順⑩の画面で「SVRTを使用する」のチェックをはずして、ファイルを作成してください。
(コマ落ちや音切れがない場合は、「SVRTを使用する」をチェックしておきます。AVC HD AVCHDモードの動画を保存する場合(P.16)、チェックをはずしていると、保存に約10倍の時間がかかることがあります。)

Q 作成したDVDビデオやブルーレイディスクで、編集した(効果をつけた)部分の画像や音声に異常があります。

A AVC HD AVCHDモードの動画(画質 XP SP EP)を編集する場合:
(1) 「編集してビデオディスクをつくる」(P.12)の手順⑨で「ディスク形式出力」を選んで作成するときに、このような症状が起こることがあります。
(2) 「ファイル形式出力」を選んで、ファイル(拡張子.JTS)を作成してください。操作については、「編集して保存する(AVCHD)」(P.16)の手順⑨~⑪をご覧ください。
(3) 「編集してビデオディスクをつくる」(P.13)の手順⑪で「読み込み」の「動画」を押し、上記で作成したファイルを読み込みます。

A MPEG2 TS MPEG-2 TSモードの動画(画質 FHD 1440 CBR)を編集する場合:
(1) 「編集してビデオディスクをつくる」(P.12)の手順⑨で「ディスク形式出力」を選んで作成するときに、このような症状が起こることがあります。
(2) 「ファイル形式出力(GZ-HDシリーズ)」を選んで、ファイル(拡張子.TPD)を作成してください。操作については、「編集して保存する(MPEG-2 TS)」(P.18)の手順⑨~⑪をご覧ください。
(3) 「編集してビデオディスクをつくる」(P.13)の手順⑪で「読み込み」の「動画」を押し、上記で作成したファイルを読み込みます。

PowerProducer 4 NE

Q ブルーレイディスク、AVCHDディスク、DVDビデオに、タイトル数とチャプター数をいくつまで設定できますか。

A タイトルは1枚のディスクあたり98個まで、チャプターは1つのタイトルあたり99個まで設定できます。

Q 記録時間の短い動画ファイルをインポートできません。

A 2秒未満のファイルはインポートできません。

Q 100個以上など多数の動画ファイルをインポートできません。

A DVDビデオ、ブルーレイディスク、AVCHDディスクともに、98個を超える動画ファイルはインポートできません。

A インポートする動画ファイルの数量が多い場合、エラーが表示されることがあります。一度にインポートするファイル数を50個以下にしてください。

A ディスクのメインメニューにすべてのファイルをタイトルとして並べる必要がない場合、PowerDirectorで動画ファイルを連結してファイル数(タイトル数)を減らすことができます。

Q サムネイルが表示されません。

A タイトル数が多い場合、お客様のパソコンの環境によっては、このような症状になることがあります。そのままディスクを作成しても、作成したディスクには影響しません。

付属ソフトのよくあるご質問（つづき）

PowerDVD 7 NE

Q　ブルーレイディスクを再生できますか?
A　できません。お手持ちのブルーレイディスク対応ソフトウェアをご利用ください。再生できるのは、AVCHDディスクとDVDビデオのみです。

Q　PowerDVD 7のBD対応版を持っています。付属ソフトをインストールしてから、ブルーレイディスクを再生できなくなりました。
A　付属のPowerDVDをインストールする際に、お手持ちのパソコンに既にインストールされていたPowerDVDが、アンインストールされます。ブルーレイディスクを再生するには、PowerDVDのBD対応版をインストールしなおしてください。
PowerDVDのBD対応版をインストールしなおしたあとで、AVCHDディスクを再生できなくなる場合は、最新のPowerDVDにアップグレードすることをお勧めします。

Power2Go 5.5Lite（DVDライターの付属ソフト）

Q　AVCHDモードの動画（画質XP SP EP）を、DVDに記録できますか?
A　追加タイトル用ファイル（拡張子.JTS）をつくると（P.16）、Power2GoでDVDに記録できます。操作については、DVDライターの取扱説明書をご覧ください。
A　このDVDは、テレビに直接接続したDVDライター（CU-VD50）で再生できます。
その他のDVDライター（CU-VD40など）や、エブリオに接続したDVDライター（CU-VD50）では、再生できません。AVCHDディスクではないので、AVCHD対応機器（ブルーレイレコーダーなど）では再生できません。

Q　MPEG 2-TSモードの動画（画質FHD 1440）を、DVDに記録できますか?
A　追加タイトル用ファイル（拡張子.TPD）をつくると（P.18）、Power2GoでDVDに記録できます（P.19）。操作については、DVDライターの取扱説明書をご覧ください。
A　このDVDは、テレビに直接接続したDVDライター（CU-VD50またはCU-VD40）や、エブリオに接続したDVDライターで、再生できます。

動画や静止画を撮影した後は、パソコンに接続するとアップル社のソフトなどで楽しむことができます。

対応ソフトで動画を編集（AVCHD）

AVCHD AVCHDモードで撮影した動画（画質 XP SP EP）を編集するには、AVCHD規格に対応するアップル社または市販のソフトウェアをご利用ください。

iMovie HDで動画を編集（MPEG-2 TS）

アップル社のiMovie HD（バージョン6）を使うと、下記の動画をパソコンで編集できます。

■対応する動画ファイル
➡ MPEG2 TS MPEG-2 TSモードで撮影した動画（画質 FHD 1440 CBR）

お知らせ ●iMovie '08（バージョン7）をお使いの方は、iMovie HD（バージョン6）を無償でダウンロードできます。
http://www.apple.com/jp/ftp-info/reference/imovieHD6.html

iPhotoで静止画を活用

アップル社のiPhotoを使うと、静止画を読み込んでアルバム風に閲覧し、印刷できます。

（画面はiPhoto '08の場合）

エブリオに接続できるパソコン

次の条件を満たすMacintoshに、静止画と、MPEG2 TS MPEG-2 TSモードの動画を保存できます。

CPU：PowerPC G4/G5 1.25GHz以上
Intel Coreプロセッサ（Intel Core Duo 1.66GHz以上推奨）
端子：標準装備のUSB2.0端子
OS：Mac OS X 10.4.4～10.4.11、10.5.1～10.5.2
メモリー：512MB以上（1GB以上推奨）

■iMovieとiPhotoの動作環境
➡アップル社のホームページでご確認ください

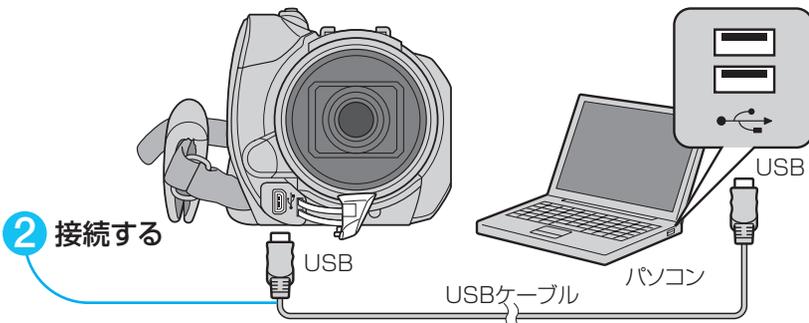
■付属ソフト
●QuickTime Component for Everio（MPEG2 TS MPEG-2 TSモードの動画をiMovie HDで扱うためのプラグインソフト）

お知らせ ●付属ソフトで困ったときは、『取扱説明書』P.95のお問い合わせ先へご相談ください。

2 エブリオを接続する／静止画を読み込む

パソコンにエブリオを接続するには、付属のUSBケーブルを使います。

準 備 ●(エブリオ)電源:「切」

1 本機にACアダプターを取り付ける

2 接続する

3 電源を入れる

●次の画面が表示されます

4 エブリオで「パソコンで見る」を選び、決定する

●デスクトップなどに、エブリオのHDDやmicroSDカードのアイコンが表示されます

●パソコンの設定によっては、iPhotoなどのソフトウェアが自動的に表示されます

■アイコンがデスクトップに表示されないとき

➡Finderの移動メニューで「コンピュータ」を選ぶ
(コンピュータ名のウインドウに、エブリオのHDDとmicroSDカードが表示されます。)

■静止画を読み込むとき

➡iPhotoを使う

➡または「DCIM」フォルダをパソコンにコピーする(P.8)

■エブリオを取り外すとき

(1) エブリオのHDDやmicroSDカードのアイコンを、デスクトップからゴミ箱にドラッグする。
または、Finderウインドウのサイドバーで、エブリオのHDDのイジェクトボタン(⏏)をクリックする。

(2) アイコンがデスクトップから消えたら、USBケーブルを抜く。

お知らせ ●iPhotoの使いかたについては、iPhotoの「ヘルプ」メニューをご覧ください。

Mac OS X
3-1 iMovie HDで動画を編集する(MPEG-2 TS)

MPEG-2 TSモードの動画(画質 FHD 1440)を、パソコンに保存し、アップル社のiMovie HD(バージョン6)で編集しましょう。

付属ソフトのインストール

MPEG-2 TSモードの動画を扱うために、付属のQuickTime Component for Everioをインストールしてください。

準備 ●付属のCD-ROMをパソコンに入れる。(デスクトップに表示される)

1
QuickTime Component for Everio.pkg

CD-ROMを開き
ダブルクリックする

2 「ようこそQuickTime Component for Everioインストーラへ」の画面で
「続ける」を押す

3 使用許諾書の
内容を確認し、「続ける」と「同意します」を押す

HDDを選び、

「続ける」を押す

5 「アップデート」または
「インストール」を押す
●QuickTime Component for Everioのインストールが始まります

6 **「閉じる」を押す**

(MPEG-2 TSモード)の編集

1 **エブリオの「SD-VIDEO」フォルダを、パソコンにコピーする**
●エブリオを接続する/取り外すには➡(P.23)
●「SD-VIDEO」フォルダについて➡(P.8)

2
iMovie HD

Dockの
iMovie HDをクリックする
●または「アプリケーション」フォルダのiMovie HDアイコンをダブルクリックします

iMovie HDが立ち上がる。(➡次ページに続く)

iMovie HDで動画を編集する(MPEG-2 TS)（つづき）

（以下は、P.24の手順②の続きです）

③「新規プロジェクトを作成」を押す

④名前をつける

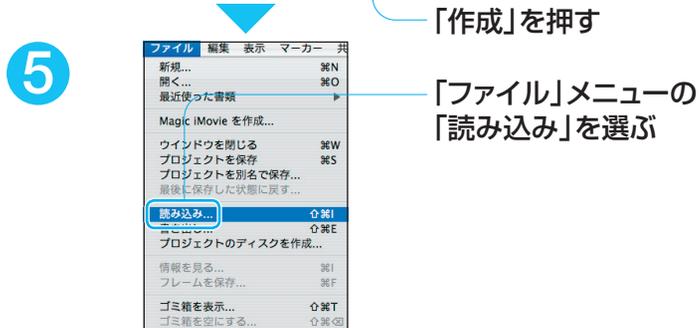
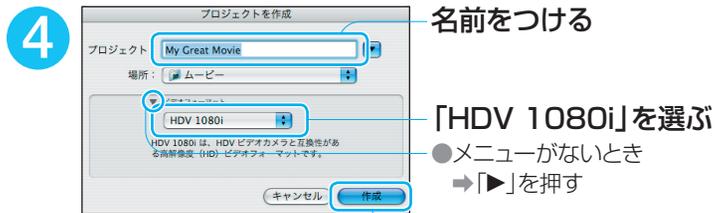
「HDV 1080i」を選ぶ

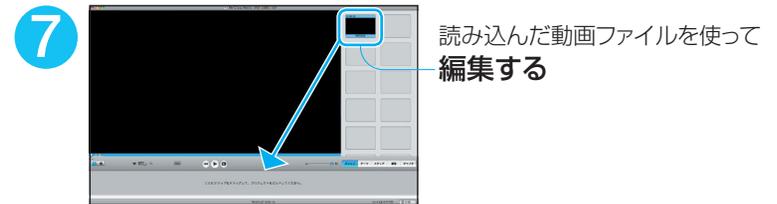
●メニューがないとき
➡「▶」を押す

「作成」を押す

⑤「ファイル」メニューの「読み込み」を選ぶ

⑥「SD-VIDEO」フォルダのなかの
動画ファイル(拡張子.TOD)を選ぶ

「開く」を押す

動画ファイルの読み込みが開始される。

⑦読み込んだ動画ファイルを使って
編集する

お知らせ

●iMovie HD（バージョン6）の仕様により、画質 FHD の動画ファイルを読み込むと、解像度が「1920×1080i」から「1440×1080i」に変換されます。

●iMovie HD（バージョン6）の使いかたについて詳しくは、「ヘルプ」メニューの「iMovie HDヘルプ」をご覧ください。

iMovieのよくあるご質問

iMoive HD（バージョン6）と MPEG-2 TSモードの動画

Q 動画ファイル（拡張子.TOD）をiMovieに読み込めません。

A エブリオをパソコンから取りはずし、基本設定メニューの「ストリーム形式」が「MPEG-2 TS」になっていることを確認してください。

A iMovieのバージョンをご確認ください。
iMovie HD（バージョン6）をお使いの場合に、動画ファイルを（拡張子.TOD）をハイビジョンのまま編集できます。
iMovie '08（バージョン7）をお使いの場合は、アップル社のホームページから iMovie HDを無償でダウンロードしてご利用いただけます。
http://www.apple.com/jp/ftp-info/reference/imovieHD6.html

Q iMovie HDに読み込むには、HDDにどの程度の空き容量が必要ですか。

A お使いになるMacの動画ファイル（拡張子.TOD）の容量の、およそ8～10倍の空き容量（最大40GB）が必要です。

Q iMovie HDに読み込むには、どの程度の時間が必要ですか。

A お使いになるMacの機種によって異なりますが、読み込む動画ファイル（拡張子.TOD）の記録時間のおよそ**4～10倍**の時間がかかる場合があります。

Q iMovie HDの動作が不安定になることがあります。

A 最新のシステム環境でご使用になることをお勧めします。QuickTime PlayerやiMovie HD（バージョン6）の最新のバージョンをお使いください。

Q 解像度「1920×1080i」のまま編集できません。

A iMovie HD（バージョン6）の仕様です。iMovie HDは、解像度「1440×1080i」までの動画を扱うことができます。

他社製品の登録商標と商標について

・Microsoft、Windows、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
・Mac OS、iMovie、iPhotoは、米国Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
・Pentium、Intel Coreは、米国Intel Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
・"x.v.Color"は商標です。
・その他、記載している会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TMマークと®マークを明記していません。

ビクターホームページ http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

M8H5 0508MNH-AL-OT